

エルサルバドル大統領選（555号）

2024年 3月 石館

中米エルサルバドルの大統領選挙が2月4日投開票され、現職のナジブ・ブケレ氏が再選された。世界最悪水準だった同国の治安を改善した手腕が支持を集めた。

ただ憲法で禁止されていた再選に突き進んだ強引な手法や、強権的な取り締まり姿勢には独裁懸念も消えない。



中南米諸国は殺人件数の多いことで知られる。2021年の世界の10万人当たりの殺人発生率のランキングでは、ジャマイカを筆頭にトップ20カ国をあげるとその9割は中南米諸国である。因みに日本は世界150番目で最も殺人件数の少ない国の一つである。

ブケレ大統領が再選 司法・立法も掌握—エルサルバドル

エルサルバドルはかつては最も殺人件数の多い国であったが、ブケレが大統領になってから激減している。ブケレが大統領に就任した2019年は2000人以上が殺害されており、非常事態宣言によって容疑者を迅速に投獄し権利も制限した強硬策が奏功した。

エルサルバドルはかつては最も殺人件数の多い国であったが、ブケレ



エルサルバドル大統領、ギャングへの殺傷武器使用を許可 - CNN.co.jp

中南米最大の刑務所を最近開設した。収容された裸にされた囚人たち

因みに2023年の殺人件数は150件余りに留まり、500件弱だった前年から約7割減少した。人口（約630万人）の1%

を超える7万人以上が拘束され、一部は不当な扱いを受けてきたとされる。しか

し国民はたとえ人権を無視しても、夜独り歩きでき治安が安定する方が良しとし、ブケレの強硬策を支持している。



エルサルバドル大統領選、現職ブケレ氏が勝利宣言 (AFP=時事 ...

再選されたブケレ夫妻

エルサルバドルは中央アメリカに位置し、国土面積は四国よりやや大きい程度

これは米州大陸部全体で最も小さい。また、中央アメリカで太平洋のみと面する唯一の国で、カリブ海とは接して

いない。グアテマラと203キロメートル、ホンジュラスと342キロメートルにわたって国境を接している。国土の約10%が森林地帯となっているが、そのうち80%が植林によって再生したものであり、自然林はほとんど残っていない。



首都のサンサルバドル

サンサルバドル都市圏には210万人が居住しておる

エルサルバドルははっきりとした乾季と雨季に分かれる熱帯気候であり、気候は主に高度によって変化する。

太平洋側の低地は一樣に暑く、中央高原と山地は快適な気候になっている。

エルサルバドルはグアテマラ、パナマ、コスタリカに次いで中米地域では4番目に経済規模の大きい国家であり、一人当たりのGDPは4900ドルに達する。それでもこの国はラテンアメリカ全体でも上位10番以内に入る貧しい国である。エルサルバドルの人口の約240万人が貧困層となっている。

同国は有機鉱物資源、金属鉱物資源をほとんど産出しない。鉱業の対象となる唯一の資源は塩である。経済を支えるセクターは農業であるが、寡占大土地所有が

問題となっている。特にコーヒー、砂糖、綿花の栽培が盛んである。コーヒー豆の生産量は2002年で9.2万トンに達し、これは全世界の生産量の1.2%に相当する。穀物、根菜の栽培量は自給に必要な量に達していない。農業国であるにもかかわらず、穀物を輸入している。



上向きの矢印の先は首都サンサルバドル、下向きの矢印の先は第2の都市サンタアナ

この2都市に人口が集中している

実業家出身のブケレ氏は首都サンサルバドル市長を経て19年、大統領に就任した。

一部の中米諸国は、左派ゲリラと、米国を後ろ盾とする右派独裁体制との紛争を経て、持続的な民主主義モデルを立ち上げるのに苦慮してきた。ブケレ氏の人気はそうした実情を浮き彫りにしている。

憲法では大統領任期は5年と定められている。ブケレ氏は21年に憲法法廷の判事を事実上更迭し、その直後に憲法解釈が見直された。新たな憲法解釈では、大統領就任の直前の数か月を休職すれば、再選を可能にした。まさに茶番劇でありブケレ氏は昨年末から休職し、再選を目指して今回の大統領選に立候補していた。

国民は今のところ、法的手続きに基づかず多くの市民を拘束するなどの独裁的手法を意に介さず、ギャングによる暴力が減ることを支持しているが、人権団体は、権力の集中が進んで公民権が更に抑圧されると懸念している。ブケレの大統領の任期は2029年まであり、その時彼はまだ47歳でそれまでにどんなことが起きるか分らぬが、終身大統領を狙うのではないか。